

イデックスオイルレポート ~For a month~

株式会社新出光

【月次概況】

- 第1週、12/5のWTI原油は、先週比1.53ドル高の60.08ドルとなった。米連邦準備制度理事会(FRB)が来週9、10両日に開く連邦公開市場委員会(FOMC)で追加利下げに踏み切ることは、市場にほぼ織り込み済み。利下げにより、経済成長が促され、エネルギー需要が拡大するとの期待が原油買いを後押しした。
- 第2週、12/12のWTI原油は、先週比2.64ドル安の57.44ドルとなった。ウクライナのゼレンスキーダン領は11日、米政権が東部ドネツク州に非武装の「自由経済区」を設ける解決策を提案していると明らかにした。報道によると、ウクライナ政府高官はこの提案を受け入れる用意があると述べたといい、これまで和平の絶対条件としてきた領土問題での譲歩を示唆した形。ロシアのプーチン大統領が応じれば、経済制裁の解除につながるとの思惑から、午前中は売りが優勢だった。
- 第3週、12/19のWTI原油は、先週比0.78ドル安の56.66ドルとなった。トランプ米大統領は16日、制裁対象となっている石油タンカーの南米ベネズエラへの出入港の全面封鎖を命じると発表した。米国とベネズエラの緊張が高まる中、ベネズエラ産原油の供給混乱を巡る警戒感から原油が買われた。
- 第4週、12/26のWTI原油は、先週比0.08ドル高の56.74ドルとなった。ウクライナのゼレンスキーダン領は26日、ロシアの侵攻終結に向けた和平案を巡り、トランプ米大統領と近く会談すると表明。通信アプリで「一日も無駄にしない。新年までに多くの問題が解決するだろう」と強調した。

	12月平均	WTI原油	57.87ドル	前月比	-1.59ドル	為替 1ドル	156.95円	前月差	0.75円
--	-------	-------	---------	-----	---------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	出光興産	変動幅	ENEOS	変動幅
12/1~12/3	20.0/17.1/5.0		±0		±0
12/4~12/10	20.0/17.1/5.0		-0.5		-0.5
12/11~12/17	25.1/17.1/5.0		±0		±0
12/18~12/24	25.1/17.1/5.0		-1.5		-1.5
12/25~12/31	25.1/17.1/5.0		-3.0		-3.0

左からガソリン/軽油/灯油重油

メニュー価格推移	2025年7-9月C重油決定価格 2025年10-12月C重油仮価格 2025年10-12月C重油決定価格 決定価格 前期比	【単位:円/KL】		
		0.5HPP	ENEOS LS船用燃料油基準価格	
		83,970	85,990	【83,970(メニュー)+ 2,020(プレミアム)】
		83,590	87,190	【83,590(メニュー)+ 3,600(プレミアム)】
		82,870	86,820	【82,870(メニュー)+ 3,950(プレミアム)】
	830			

内航燃料油価格推移	2025年7-9月決定価格 2025年10-12月仮価格 2025年10-12月決定価格 決定価格 前期比	【単位:円/KL】	
		適合C重油	A重油
		91,390	100,600
		92,590	
		92,220	98,500
	830		-2,100

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格	通関CIF	為替レート	原油CIF価格
			円/kl	ドル/bbl	円/ドル	前月比
	25/10	9桁速報	69,889	74.29	149.57	2,092
	25/11	9桁速報	68,598	71.21	153.14	-1,291
	25/12	最終予測	67,009	68.33	155.91	-1,589
	26/1	展望	65,304	67.42	154.00	-1,705

【次世代エネルギー】 < 液化空気エネルギー貯蔵、住重が商用化に乗り出す >

住友重機械工業は液化した空気の形でエネルギーを貯蔵し、必要な時に電力として取り出す液化空気エネルギー貯蔵(LAES)の商用化に乗り出す。9日、広島ガスと同社の廿日市工場(広島県廿日市市)に商用実証に向けたプラントを竣工し、稼働したと発表した。太陽光や洋上風力発電など再生可能エネルギーの長期貯蔵・系統安定化ニーズを取り込み、2030年に世界で500億円の受注を目指す。

液化天然ガス(LNG)の冷熱を活用したLAESプラントは世界初。9日に開いた竣工式で、住重の下村真司社長は「世界的な脱炭素化の流れに対して、再生エネの出力抑制などの課題に応えていきたい」と強調。広島ガスの中川智彦社長は「世界初の取り組みに参加でき、若手の励みになる。LNGの有効活用で二酸化炭素(CO2)削減を実現する」と意気込みを示した。

住重は運用ノウハウを蓄積し、国内外でLAESプラントの展開を目指す。同プラントでの実証を通じ、洋上風力発電の系統安定化などに生かしたい考え。英国や北米に加え、北海道や東北、九州など再生エネに注力する地域でのプラント受注を目指す。広島ガスは自社設備のCO2削減につなげる。

LAESは、まず空気を圧縮・冷却して液化し、タンクに貯蔵。電力が必要な際にその液化空気を加圧、気化、加熱してタービン発電機を駆動して電力を供給する。今回の実証プラントは液化空気の生成過程において、広島ガスのLNGの冷熱を活用し充電効率を向上させる。20メガ(メガは100万)ワット時を出力し続ける容量を持つ。投資額は非公表。

【1月価格変動要因】

- 需要:
 - ・欧州域内の消費は引き続き弱い。
 - 改善の兆しとしては、欧州の新車販売はコロナ前対比では低水準横ばいではあるものの、5ヶ月連続で増加傾向。ドイツ、イタリア、スペイン等でEVが好調。2024年の補助金削減に伴う販売低迷からは脱却しつつある。
 - ・中国は内需不振が継続。
 - 助成金効果の剥落が大きいが、中央経済工作会议においては、2026年の「適度に緩和的な」金融政策を継続すると決定。
 - 「必要な財政赤字、債務の規模や支出を維持する」と強調し、内需低迷への警戒感をあらわにしている。
- リスク資産・金融市場:
 - ・米12月FOMCは25bpの利下げを決定。
 - パウエルFRB議長会見も想定通り。気になったのは声明文から失業率が低位で推移しているとの文言が削除されたこと、パウエルFRB議長も労働市場を注視する旨の発言あり。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	66	63
Average	61	58
Low	56	53

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	67	64
Average	60	57
Low	53	50

日付	国	1月経済指標カレンダー	日付	国	1月経済指標カレンダー
5	米国	12月ISM製造業景況指数	15	米国	12月小売売上高
7	米国	12月ADP雇用統計	23	日本	日銀金融政策決定会合、終了後政策金利発表
7	米国	12月ISM非製造業景況指数	23	日本	12月全国消費者物価指数
9	米国	12月非農業部門雇用者数変化	23	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
9	米国	12月失業率	28	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表
9	米国	12月平均時給	28	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見
13	米国	12月消費者物価指数			